

平成27年度

練馬区立石神井西中学校区

小中一貫教育研究グループの取り組み

立野小学校

石神井西小学校

関町小学校



石神井西中学校

石神井西中学校区では、平成27年度より練馬区教育委員会の指定を受け、2年計画で小中一貫教育の研究に取り組んでいます。これまでの活動内容について、お知らせいたします。

平成28年3月

小中合同の取り組み

石神井西小・国語

立野小・英語



出前授業



立野小・算数

関町小・理科

中1ギャップの解消や、児童の学習意欲向上につなげるために、中学校教員による出前授業を実施しています。

児童会代表と生徒会本部役員が新たな交流の機会を設定しようと、4校合同で挨拶運動を行っています。

石神井西小

立野小



挨拶運動



関町小

石神井西中

全体協議

アンケート結果発表



いじめ防止サミット



アンケート分析発表

グループ討議

生徒会が作成したいじめに対するアンケートを3校の児童を対象に実施し、各校で分析した結果を話し合い、今後の取り組みを検討しました。

学校行事や授業公開の参観、部活動見学など、様々な領域で小中合同の取り組みを行っています。

校区別協議会

授業公開参観



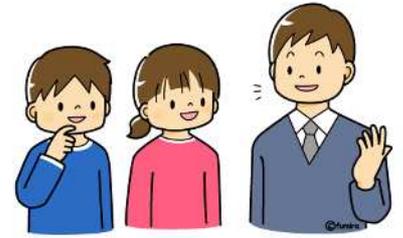
4校の取り組み



部活動見学

校区別協議会

各部会の取り組み



道徳・心の教育

自律した子の育成を課題とし、重点を置いた価値項目の系統化や系統を踏まえた授業実践を行いました。

系統性と継続性がある取り組みの実践を課題とし、系統的な一覧表の作成や発達段階に応じた取り組みの展開を行いました。

キャリア教育



生活指導

中1ギャップの解消に向けた取り組みの実践を課題とし、発達段階に応じた到達目標の設定や、実践を基にした到達目標の検証を行いました。

思いやりの心の醸成と挨拶の励行を課題とし、いじめ防止サミットの開催と啓発、小中合同挨拶運動の実施を行いました。

児童生徒交流



健康・体力

泳力・投力の向上を課題とし、中学校教員の出前水泳指導や、投力向上の取り組みと実践を行いました。

言語活動の充実と数の広がり意識化を課題とし、数学を意識した小学校の指導案作りや、小から中への言語活動の連携を行いました。

算数・数学



外国語活動・英語

英語でコミュニケーションを図る楽しさの実感を課題とし、安心してコミュニケーションを図れる環境作りやコミュニケーションを図る必然性を生む場の工夫を行いました。

実践レポートを作成できる力の育成を課題とし、表現力と学習過程の系統化、学習ワークシートの共通フォーマット化を行いました。

理科



研究構想図

児童・生徒の実態から

教師の願い
人を思いやる心を育てたい
より挨拶できる子にしたい
話す・聞く力を伸ばしたい
心ない言葉掛けを減らしたい

各校の教育目標

石神井西小学校

- ・たのしく学ぶ子
- ・はつらつと活動する子
- ・ともに歩む子

立野小学校

- ・あたたかい心をもつ
- ・すすんで学ぶ
- ・つよい体をつくる

関町小学校

- ・じょうぶな子ども
- ・ねばり強い子ども
- ・考える子ども
- ・思いやりのある子ども

石神井西中学校

- ・健康で自主性に富み、実行力のある生徒
- ・自由と責任を重んじ、規律のある生徒
- ・仕事と勉強にうち込む生徒
- ・自分や友達を大切にし、よい集団を育てる生徒
- ・国際的な視野をもち、人との共生を図る生徒

目指す児童・生徒像

自分に自信をもち、心豊かでかしく、21世紀をアクティブに生きる子

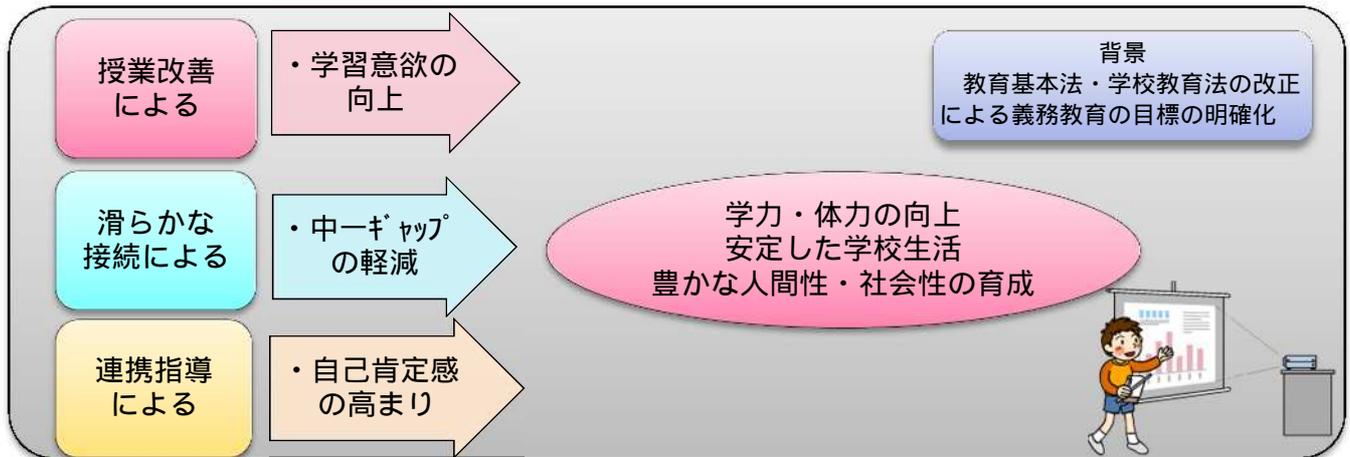
研究主題

豊かな人間性と確かな学力を身に付け、自己実現を図ろうとする児童・生徒の育成

研究の視点

9年間を見通した授業改善と連携指導および円滑な接続を図る研究を通して次の課題改善を目指す

小中一貫教育の連携・協力事業の推進にて目指すもの



研究のアプローチ

小中の教員で構成される8部会にて、義務教育9年間の出口である望ましい中三生徒像に迫る手立てを探り、課題解決のためのカリキュラムを編成する

各研究部会の課題と方策

部会名	道徳・心の教育	キャリア教育	生活指導	児童生徒交流	健康・体力	算数・数学	外国語活動・英語	理科
課題	自律した子の育成	系統性と継続性がある取り組みの実践	中1ギャップの解消に向けた取り組みの実践	思いやりの心の醸成と挨拶の励行	泳力・投力の向上	(中)言語活動の充実 (小)数の広がり意識化	英語でコミュニケーションを図る楽しさの実感	実験レポートを作成できる力の育成
方策1	重点を置いた価値項目の系統化	系統的な一覧表の作成	発達段階に応じた到達目標の設定	いじめ防止サミットの開催と啓発	中学校教員の出前水泳指導	数学を意識した小学校の指導案づくり	安心してコミュニケーションを図れる環境づくり	身に付けたい表現力と学習過程の系統化
方策2	系統を踏まえた授業実践	発達段階に応じた取り組みの展開	実践を基にした到達目標の検証	小中合同挨拶運動の実施	投力向上の取組と実践	小から中への言語活動の連携	コミュニケーションを図る必然性を生む場の工夫	学習ワークの共通フォーマット化